

2014年10月10日

大塚製薬工場 糖尿病治療用のバイオ人工膵島「DIABECCELL[®](ディアベセル)」 に関するライセンス契約締結のお知らせ

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一、以下「大塚製薬工場」)は、Diatranz Otsuka Limited(本社:ニュージーランド、オークランド、Chair person: Robert Elliott、以下「DOL社」)が開発する糖尿病治療用のバイオ人工膵島「DIABECCELL[®](ディアベセル)」(以下「ディアベセル」)について、日本および米国における独占的な開発・製造・販売権に関し、ライセンス契約を締結しましたのでお知らせ致します。

本契約に基づき、大塚製薬工場はDOL社から日本、米国での「ディアベセル」の独占的な開発・製造・販売権のライセンスを受け、契約一時金と開発の進捗に応じたマイルストーンをDOL社に支払うこととなります。また、「ディアベセル」の日本および米国での開発販売費用は、全て大塚製薬工場が負担することとなります。

大塚製薬工場は、「ディアベセル」の日本および米国における研究開発・事業化を推進することを通じて、新たな糖尿病治療の選択肢を提供できるよう努め、再生医療領域における研究開発を強化し、日本のみならず国際的に積極的な事業展開を進めてまいります。

大塚製薬工場は、「Otsuka-people creating new products for better health worldwide」の大塚グループ企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

「ディアベセル」について

「ディアベセル」は、Living Cell Technologies Limitedが開発した製品であり、人移植用に無菌状態で飼育されたブタの膵島細胞をカプセルに閉じ込めたカプセル化ブタ膵島細胞で、糖尿病患者の腹腔内に移植し、インスリン分泌を補充する装置です。重症1型糖尿病治療の新たな選択肢になると期待されています。

会社概要

Diatranz Otsuka Limited

設 立 : 2011 年 11 月 1 日
資 本 金 : 5,000 万 オーストラリアドル
(大塚製薬工場と Living Cell Technologies Limited が設立した出資比率 50:50 の合併会社)
代 表 者 : Robert Elliott, Chairperson
本社所在地 : 19 Laureston Avenue, Hunters Corner, Manukau 2155, Auckland, New Zealand
従 業 員 数 : 56 名
事 業 内 容 : DIABECCELL の研究・開発

Living Cell Technologies Limited

設 立 : 1987 年
資 本 金 : 60,685,600 オーストラリアドル
(オーストラリア証券取引所(ASX)に上場)
代 表 者 : Ken Taylor, Chief Executive
本社所在地 : 19 Laureston Avenue, Hunters Corner, Manukau 2155, Auckland, New Zealand
従 業 員 数 : 12 名
事 業 内 容 : カプセル技術を応用した細胞治療の開発

株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1921 年 9 月 1 日
資 本 金 : 8,000 万円
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原信一(おがさわら しんいち)
本社所在地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従 業 員 数 : 2,343 名 (2014 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造・販売
U R L : <http://www.otsukakj.jp/>